

## 2022-2023 年度

### 群馬県児童養護施設卒園生を送る会報告書



関会長挨拶



スーツ寄贈の様子



田中れいか様からのメッセージ



講演会の様子

2022年12月17日土曜日 伊勢崎プリオパレスにおいて、事業費ニコニコBOXと地区補助金を活用して、群馬県内の児童養護施設卒園生13名（他卒園生欠席者5名）と各施設の施設長および職員の方々14名をお招きし、卒園生を送る会を開催しました。今回で9年目となる事業ですが、コロナの影響で3年振りの対面での開催になりました。第一部では、関会長はじめ9名のパスト会長をプレゼンターとして、出席した卒園生に男性はスーツ、靴、ワイシャツ、ベルト、ネクタイ、女性はスーツ、ブラウス、靴（AOKI様・シューマート様各店舗に行ってもらいサイズ合わせをしてカスタマイズが済んだ状態）をひとりひとりに心をこめて寄贈しました。そのまま別室で着替え、真新しいスーツに身をつつみ再入場してきた卒園生たちは、恥ずかしそうではあるものの、緊張感の中、不安を隠すかのように笑顔を見せてくれました。また、子持山学園 田崎さんから卒園生を代表して感謝と今の気持ちをお聞かせいただき、会場のあちらこちらで涙をこらえている様子でした。式典後の会食は、時間が足りなく感じるくらいに、楽しく有意義に行われました。

第二部では、田中れいか様から『生き立ち関係なく、誰でも好きな自分になれる！』というタイトルでご自身の体験談など卒園生にメッセージを贈っていただきました。

当事業は奉仕プロジェクト須藤担当理事をはじめ、奉仕グループの皆様、司会の宮澤さん皆様のご協力で企画・準備・実行しました。また、山崎委員長をはじめとするSAAの方々、記者対応に公共イメージ理事峯岸さん、城田さんにも助けをいただき有難うございました。他にも、ご協力いただきました会員の皆様、RACの3名、心から感謝申し上げます。

（報告者：地域社会奉仕委員長 安部 良憲）